

中小製造業の製品並ぶ

中区でプロダクト展 自社開発強み生かす

浜松市などの中小企業が自社の強みを生かして独自開発した製品を集めた「はままつから発進する 新しい価値あるプロダクト展」が27日、中区の静岡文化芸術大ギャラリーで始まった。28日まで。主催は同大デザイン学部や熱中症対策グッズなど多彩な製品を並べた。オートバイのフレームなどを手掛ける横田輪業(浜北区)は、フレーム加工の技術を生かして中央部に荷物の収納空間があり、衝撃を和らげる自転車を開発した。谷川教授は「新しいものづくりの姿を見てほしい」と話す。(浜松総局・鈴木侑季)



技術を生かして中央部に収納空間を設けた自転車などが並ぶ展示会＝浜松市中区の静岡文化芸術大